

令和4年度第1回八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会 議事録

日 時： 令和4年5月24日（火）13時30分～15時00分

場 所： 八戸市庁本館3階 議会第1委員会室

出席委員： 大室康平委員、木村聡委員、木村浩哉委員、妻神博明委員、佐々木敏文委員、
中村剛志委員、東山国男委員、目澤伸一委員、米内正明委員

欠席委員： 檜木慎一委員

事務局： 熊谷市長
前田まちづくり文化スポーツ部長
石丸まちづくり文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長
和島スポーツ振興課副参事（スポーツ振興グループリーダー）
工藤スポーツ振興課主幹

次 第

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 会長及び副会長の選出
5. 協議会の運営について
6. 八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会の概要について
7. 審議案件
八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について
8. その他
9. 閉 会

次第1 開会

司 会 本日は、ご多用中のところご出席いただきましてありがとうございます。私は、本日司会を務めさせていただきます、まちづくり文化スポーツ部スポーツ振興課グループリーダーの和島と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、只今より、令和4年度第1回八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を開催いたします。

次第2 委嘱状交付

司 会 はじめに委嘱状の交付を行います。委員の皆さまのお名前をお手元の名簿順にお呼びしますので、その場でご起立願います。

【熊谷市長より各委員に対して委嘱状交付】

次第3 市長挨拶

司 会 続きまして、熊谷市長からご挨拶を申し上げます。市長、よろしくお願いいたします。

市 長 それでは一言、御挨拶を申し上げます。

皆様には御多用中のところ、御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

このたびは、委員就任につきまして、御快諾を賜り厚く御礼を申し上げます。また、委員の皆様には、日頃から市政運営につきまして、御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本市では、平成23年6月に制定された「スポーツ基本法」に基づく、国の「第2期スポーツ基本計画」を参酌し、平成31年3月に、令和元年度から令和10年度までを計画期間とする「八戸市スポーツ推進計画」を策定いたしました。

本推進計画では、市民の皆様が「する」・「みる」・「ささえる」のいずれかの形でスポーツに関わることで、一人ひとりがスポーツの価値を実感して輝き、活力のある「まち」となるよう「誰もがスポーツを楽しみたくなる街の実現と氷都八戸の新生」の基本方針のもと、各種施策に取り組んでおります。

私自身も、本市のスポーツの持つ力とその可能性に大いに期待しており、スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸、スポーツ産業の振興による地域の活性化に向けて、「スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を、このたび、市の附属機関として新設いたしました。

本市のスポーツ推進計画ではありますが、来年度で計画期間の折り返しとなる5年目を迎えます。

国では、「スポーツそのものが有する価値」と「スポーツが社会活性化等に寄与する価値」をさらに高めるため、今年3月に令和8年度までを計画期間とする「第3期スポーツ基本計画」を策定しております。

また、本市におきましても、今年3月に同じく令和8年度までを計画期間とする「第7次八戸市総合計画」を策定しており、これらの計画の内容とスポーツを取り巻く環境の変化等を踏まえ、本推進計画につきましても、来年度には、見直しに向けた検討が必要であ

ると考えているところであります。

本日は、委員委嘱後最初の会議でありますので、初めに会長、副会長を選出していただき、その後、八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について、御審議いただきたいと存じますので、委員の皆様には忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、委員の皆様におかれましては、多年にわたり培われました豊富な知識と経験を活かされ、当市のスポーツ振興はもとより、広く市政の発展につきましても、お力添えを賜りますようお願い申し上げ、挨拶といたします。

次第4 会長及び副会長の選出

司 会 続きます、当委員会の会長及び副会長の選出に入りたいと思います。

本委員会は、八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会規則第5条により、会長が議長となり議事を進めていくこととなっておりますが、会長及び副会長が決まるまでの間、議事の進行につきましては、仮議長として市長をお願いいたします。

市 長 それでは、会長及び副会長が決まるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。

会長及び副会長につきましては、八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会規則第4条第2項の規定に基づき、委員の互選により定めるとされております。

どなたか選出についてご意見はございませんか。

委 員 会長については、学識経験者であり、他の附属機関においても委員の経験をお持ちである木村浩哉委員が、副会長については、この委員会は、八戸市スポーツ推進計画における事業進捗等を調査・審議する委員会ですので、スポーツ協会の会長である米内委員が適任だと思います。

市 長 ただいま、会長に木村浩哉委員を、副会長に米内委員を推薦したいというご意見がございましたが、皆様いかがでしょうか。

【異議なしの声】

市 長 ご異議ないようです。

木村浩哉委員、米内委員よろしいでしょうか。

木村浩哉委員 了承いたしました。

米内委員 了承いたしました。

市 長 はい、ありがとうございます。

それでは、会長につきましては、木村浩哉委員に、副会長につきましては米内委員をお願いしたいと思います。

会長と副会長が決まりましたので、私は仮議長としての任務を終わらせていただきます。

す。ありがとうございました。

司 会 木村会長におかれましては、議長席へ、米内副会長におかれましては副会長席へ、それぞれお席の移動をお願いいたします。

それでは、木村会長から一言ご挨拶をいただきたいと思います。

会 長 ただいま会長を拝命いたしました八戸学院大学の木村です。

八戸市におきましては、平成31年3月に令和元年度から10年間の計画期間とする八戸市スポーツ推進計画が策定されております。

熊谷市長の挨拶にもありましたとおり、第7次八戸市総合計画が策定されたことや、国のスポーツ基本計画も新たな段階を迎えるなど、本推進計画の見直しを検討する時期にきており、そのため様々な分野において知識と経験を有する皆様方にお集まりいただいたものと認識しております。

本日は事務局からの説明をもとに、皆様方から忌憚のないご意見を賜りますようよろしくをお願いいたします。

司 会 ありがとうございました。

続きまして、米内副会長から一言ご挨拶を頂きたいと思います。

米内副会長 スポーツ協会の米内正明でございます。

副会長として、その任務を務めて参りたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

司 会 ありがとうございました。

なお、市長は次の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

それでは、会議に先立ちまして、出席委員についてご報告いたします。委員総数10名のうち、榎木（ならき）委員が欠席により、本日の出席委員は9名でございますので、八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会規則第5条第2項の規定により、本日の会議は成立しておりますことをご報告いたします。

続きまして、まちづくり文化スポーツ部長の前田より、当委員会の事務局をご紹介します。

【事務局職員紹介】

【配付資料の確認】

次第5 協議会の運営について

会 長 それでは次第に従いまして、これから審議等に入りますが、審議等に入る前に協議会の運営について皆様にお諮りしたいと思います。

事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、次第5、協議会の運営につきまして、ご説明いたします。右上に参考資料1と記載のある資料をご覧願います。

まず、八戸市附属機関の設置及び運営に関する要綱第5条の(2)裏面となりますが、個人のプライバシーまたは政策形成過程における情報等に係る審議内容で、公開することにより当該附属機関の適正な議事運営に著しい支障が生じるおそれがある場合を除き、会議を公開することとあり、第6条に、会議の結果については、審議経過等が明らかになるよう、会議録等を作成し、会議資料とともに、市民等に対する情報提供に努めるものとし、この場合において、会議録等の作成に当たっては、少数意見についても可能な限り記載するものとするをございます。

次に、右上に参考資料2と記載のある資料をご覧願います。

附属機関の会議の公開等に関する取扱い第2の会議の公開基準におきまして、附属機関の会議は、法令等の規定により、非公開とされているものを除き、原則として公開するものとする。ただし、八戸市情報公開条例第7条各号に掲げる情報に該当する事項について審議等を行う場合、当該会議を公開することにより、公正かつ円滑な議事運営に著しい支障の生ずることが予想される場合は、当該会議の全部または一部を公開しないことができるとしてございます。

また、第3の会議の公開または非公開の決定の(1)に附属機関の会議の公開又は非公開の決定は、第2の会議の公開基準に基づき、当該附属機関の長が当該会議に諮って行うものとするをございまして、当該会議の審議内容は、公開することにより当該附属機関の適正な議事運営に著しい支障が生じるおそれがあることがないものと考えられますことから、会議を公開することとし、その議事録につきましても公開することにしたいと考えてございます。

そして、裏面となりますが、第6の会議録の作成及び公開の(1)に、附属機関の会議録は、会議の公開・非公開に関わらず、速やかに作成するものとする、(2)に公開した会議に係る会議録及び会議資料は、会議において公開しないこととした情報を除き、市ホームページへの掲載及び市役所内の情報公開コーナーでの閲覧の方法により、一般の利用に供するものとし、非公開の会議に係るものについては、可能な限り、公開に努めるものとする、(3)に会議録等の公開は、当該公開の日から少なくとも2年間これを行うものとするをあり、会議におけるご発言は会議録として記録されるものでございます。

最後に、会議録の確認方法ですが、特に市として規程等があるわけではございませんが、当委員会では、会長が確認し確定する、また会長が欠席となった場合は副会長が確認し確定する方法をとりたいと考えてございます。以上でございます。

会長 ただいま事務局から説明がありました。事務局の案を採用させていただき、当協議会の会議は原則公開とし、会議録については、事務局で作成後、会長の私が、私が欠席となった協議会においては、米内副会長にご確認いただき、公開するという事で考えておりましたが、いかがでしょうか。ご質問等ございますでしょうか。

【異議なしの声】

会 長 ありがとうございます。
それでは、このとおりで進めさせていただきますので、よろしくお願いします。

次第6 協議会の運営について

会 長 それでは、次第に従いまして、「八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会の概要について」事務局から説明願います。

事務局 八戸市スポーツ振興課の石丸でございます。

八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会の概要について、資料に基づき、ご説明いたします。

まず、1の目的ですが、スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸及びスポーツ産業の振興による地域の活性化に向け、平成31年3月に策定した八戸市スポーツ推進計画における事業進捗等を調査審議することを目的とさせていただきます。

次に2の審議内容ですが、八戸市スポーツ推進計画について重要な事項の調査審議に関することと、スポーツによる人材育成、健康づくり及びまちづくりの推進に関し必要な事項について意見を述べることとさせていただきます。

3の委員構成は、学識経験者、スポーツ団体関係者、まちづくりに関する有識者、公募に応じた者等、合計10人程度とさせていただきます。

次に、4の委員会の開催予定等ですが、委嘱期間は委嘱の日から2年、開催回数は、原則として年1回とさせていただきます。

2ページをご覧ください。

参考までに、八戸市スポーツ推進計画の概要を記載してございますが、1の計画期間は、平成31年度から令和10年度までの10年間、2の計画の位置づけは、スポーツ基本法第10条に規定する「地方スポーツ推進計画」に位置付けられ、国が策定した「スポーツ基本計画」を参酌し、策定したものでございます。

3の基本方針ですが、誰もがスポーツを「楽しみたいくなる街」の実現と「氷都八戸」の新生、一年を通じてスポーツを「したくなる」、「みたくない」、「さきえたくない」多様なスポーツ文化の推進と創造とさせていただきます。

4の基本目標の1つ目は、誰でも楽しめる「生涯スポーツ」とアスリート育成に向けた「競技スポーツ」の一体的な推進としてございまして、主な目標達成のための施策は、子どものスポーツ機会の充実と体力向上、スポーツ関係団体、プロスポーツチーム、大学との連携による様々なスポーツを体験できるスポーツ機会の提供 等。

2つ目は、「スポーツ」と「まちづくり」が連携した新たな産業の創造による地域活性化としてございまして、主な目標達成のための施策は、スポーツ施設の新設に合わせた継続的な競技大会・イベントの開催、地域一丸となったスポーツへの興味・関心を高めるための環境づくり 等。

3つ目は、多様な主体と連携した一元的なスポーツ事業の運営・管理共同体の構築、人材育成の強化・推進でございまして、主な目標達成のための施策は、市のスポーツ施設・環境の特性を活用した大会・合宿の誘致、地域スポーツを「さきえる」人材・環境の強化等とさせていただきます。

配付してございます八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会規則につきましては、お時間のある時にご覧いただきたいと存じます。

資料の説明は以上でございます。

会 長 ただいま事務局から「本協議会の概要について」説明がありました。ご意見やご質問はございませんか。

【質問・意見なし】

次第7 審議案件 八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について

会 長 よろしいようですので、審議案件に移らせていただきます。「八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について」、事務局から説明願います。

事務局 令和4年度八戸市スポーツ推進計画進行管理報告書（令和3年度実績分）の1ページをご覧くださいと存じます。

まず、1の八戸市スポーツ推進計画についての(1)計画策定の背景でございますが、当市では、平成30年度まで、市総合計画の中の政策の1つとしてスポーツ施策を実施しておりましたが、国や県の動向、また、市がこれまで実施してきた施策や当市のスポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、より効果的かつ効率的にスポーツ施策を推進することを目的に、平成31年3月に「八戸市スポーツ推進計画」を策定してございまして、(2)の計画の位置づけでございますが、国の「スポーツ基本計画」の内容を参酌するとともに、当市の総合計画の下、他の関連計画と連携を図りながら当市の将来像の実現を目指すものとしてございます。

(3)の計画期間は、令和元年度から令和10年度の10年間でございまして、事業の進捗状況や施策に関するモニタリングの結果などに基づき、必要に応じて見直しを行うこととしてございます。

(4)の計画の構成でございますが、「誰もがスポーツを『楽しみたくなる街』の実現と『氷都八戸』の新生」の基本方針の下、3つの基本目標を掲げてございまして、基本目標1の誰でも楽しめる「生涯スポーツ」とアスリート育成に向けた「競技スポーツ」の一体的な推進に対しまして、5つの指標、基本目標2の「スポーツ」と「まちづくり」が連携した新たな産業の創造による地域活性化に対しまして、3つの指標、次のページになりますが、基本目標3の多様な主体と連携した一元的なスポーツ事業の運営・管理共同体の構築、人材育成の強化・推進に対しまして、3つの指標をそれぞれ掲げてございます。

次にイの施策の推進でございますが、基本目標達成のため、次のとおり大施策として13種類、大施策に紐づく、より具体的な小施策として26項目を掲げてございまして、基本目標Iの1：子どものスポーツ機会の充実と体力向上の小施策として、①子どもの「運動遊び」の推進、親子で親しみ楽しめるスポーツ環境づくり、②「運動遊び」から「競技」に繋がるスポーツ活動・体験の充実。

2：学生・社会人・高齢者それぞれのライフスタイル・ニーズに対応したスポーツ活動の推進の小施策として、③運動不足解消・健康増進に繋がるスポーツ環境づくり、④高齢

者・障がい者のスポーツ活動の充実。

3：スポーツ関係団体、プロスポーツチーム、大学との連携による様々なスポーツを体験できるスポーツ機会の提供の小施策として、⑤市民ニーズを踏まえた、スポーツイベントの開催・支援。

4：トップアスリートを輩出している競技や新たなスポーツ施設・環境を生かしたスポーツ競技力の向上の小施策として、⑥ターゲット種目を設定した戦略的なスポーツ競技力の向上、⑦スポーツ関係団体、プロスポーツチーム、教育機関と連携した競技者育成プログラムの構築、⑧オリンピックメダリスト等の顕彰。

5：トップアスリートとの交流、トップレベルの競技大会への派遣支援の小施策として、⑨トップアスリートの招聘による交流イベント・シンポジウムの開催、⑩トップレベルの競技大会への派遣支援。

7：体育施設整備基本方針に基づくスポーツ施設の維持管理などによる活動場所の確保の小施策として、⑪八戸市体育館の建て替え、その他体育施設の維持管理、⑫学校体育施設、社会教育施設と連携した活動場所の確保、⑬誰でもスポーツ施設が利用しやすい環境整備。

次のページに移りまして、基本目標Ⅱの1：スポーツ施設の新設に合わせた継続的な大会・イベントの開催の小施策として、⑭新しいスポーツ施設での大会・興行等の開催推進。

2：地域一丸となったスポーツへの興味・関心を高めるための環境づくりの小施策として、⑮プロスポーツ、各種大会の「みる」スポーツの機会提供・充実、⑯プロスポーツチームと市民の交流促進、意識醸成によるホームタウンづくり、⑰アマチュアもプロも、地域スポーツを観戦・応援する体制づくり。

3：産業とプロスポーツチームの連携による、地域産業・地場産品等PRの展開の小施策として、⑱「スポーツ」と「地域産業」の連携によるグッズ作成、物産の商品開発・PR戦略の実施。

4：スポーツ体験・観戦を活用したスポーツツーリズムの推進の小施策として、⑲「スポーツ」と「観光」の連携による体験ツアー・スポーツツーリズムの造成。

基本目標Ⅲの1：本市のスポーツ施設・環境の特性を活用した大会・合宿の誘致の小施策として、⑳スケートリンクを活用した継続的な大会・合宿等の誘致に向けたプロモーション、㉑SNS等を利用した観光資源PRによる誘致戦略。

2：大会・合宿時の会場、宿泊、観光等のワンストップ窓口の管理・運営の推進の小施策として、㉒各団体と連携した地域スポーツコミッションの設立と管理・運営。

3：地域スポーツを「ささえる」人材・環境の強化の小施策として、㉓競技スポーツ指導者の育成と確保、㉔大会及び合宿誘致時の運営体制の構築、㉕スポーツ関係団体の活動支援、㉖アスリート等のセカンドキャリア活用を掲げてございます。

4 ページをご覧ください。2の計画の進行管理についてでございます。

(1)の 目的でございますが、計画掲載施策の進捗状況を調査し、必要に応じて内容の見直しや工夫を加えながら、八戸市スポーツ推進計画の着実な推進を図るものでございまして、(2)の 実施方法は、アの毎年行う進行管理として、前年度の各施策に対する個別の取組内容及びその実績の確認、イの長期的に行う進行管理として、中間年と最終年におけるまとめとして、それまでの毎年の実績及び基本目標の達成度合いを評価・分析すること

で、未達成項目の重点的取組や必要に応じた現行計画の見直し、次期計画策定の検討につなげるものでございます。

そのために、ウでございますが、八戸市スポーツ推進計画の進行管理に関する外部評価のための附属機関として、本推進協議会を設置し、計画における事業進捗等を調査・審議するとともに、必要に応じて現行計画の見直しを検討していくものでございます。

5 ページをお開き願います。3 の計画の進行状況でございます。

目標値に対する令和3年度の実績でございますが、指標1：自主的にスポーツをする時間を持ちたいと思う中学生の割合は、目標80%に対しまして、85.7%。

指標2：中高年及び高齢者の運動習慣者の割合は、目標値60%ですが、令和3年度の目標値は確定してございません。

指標3：市又は指定管理者主催のスポーツ教室開催数は、目標値700回に対しまして、831回、なお、目標値では、「八戸市運動公園体育施設」実施分のみで算定いたしましたが、実績値では、全施設の指定管理者における実施分で算出しております。

指標4：スポーツ各賞受賞者数は、目標値20人に対しまして、6人

指標5：施設利用者数は、目標値130万人に対しまして、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、71万7,568人。

指標6：年1回以上の市民の会場でのスポーツ観戦率は、目標値26.8%に対しまして、17.6%。

指標7：長根屋内スケート場の利用者数は、目標値31万4,399人に対しまして、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、12万9,686人。

指標8：市内プロスポーツチームの1試合平均ホームゲーム来場者数は、目標値1,800人に対しまして、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、805人。

指標9：スケート競技での年間合宿団体数は、目標値42団体に対しまして、187団体。

指標10：地域スポーツコミッションの設立ですが、今年4月1日に設立してございません。

指標11：スポーツ少年団指導者登録者数に占める認定員有資格者の割合ですが、目標値70%に対しまして、58.7%でございます。

このあとの施策ごとの取り組みにつきましては、担当の工藤から説明を申し上げます。私からは以上でございます。

事務局 それでは、私からは施策ごとの取組についてご説明させていただきます。

6 ページをご覧ください。こちらは、これからご説明する資料構成となりまして、先程、当課の石丸より基本目標について、ご説明申し上げましたが、この基本目標に関連する当課並びに関連部署が実施する具体的事業の取組状況を示しております。

それでは、7 ページ 8 ページを見開きでお願いします。資料の構成について具体的にご説明申し上げます。

7 ページ上段に大施策・施策1-1・子どものスポーツ機会の充実と体力向上と記載してございます。

この施策を遂行するにあたっての具体的な事業を取組内容の欄に記載しており、一番上にスポーツ少年団運営支援事業と記載してございます。

こちらは、当課において実施している事業であり、八戸市スポーツ少年団の大会運営費用の一部を補助しているものであります。

本事業に取り組んだ結果として、右側 8 ページのア、八戸市スポーツ少年団の団員数について、八戸市スポーツ推進計画策定前の平成 30 年度から令和 3 年度までの団員数の推移を記載してございます。

計画策定前の平成 30 年度、2,919 人に対し令和 3 年度は 1,908 人という結果となっておりますが、団員数の減少要因として、そもそもの少子化やクラブチーム化等々、様々な要因が考えられるものであります。

資料構成は只今ご説明したとおりとなりますが、当然ながら、計画当初は想定し得なかった、新型コロナウイルスの影響を大きく受けている事業も多数あるほか、スポーツを取り巻く環境等にも様々な変化が生じております。

委員の皆様におかれましては、施策に対しての取組内容や取組実績等について、専門的な知見や経験のもと、より実態に即した施策とするためのご意見をいただきたく、本日本お集まりいただいた次第です。

なお、取組み内容は多岐にわたりまして、本資料の 40 ページまでが同様の構成となっております。本日本お気づきにならない点につきましては、お気づきになった時点で当課までご意見いただければ幸いと存じます。

時間の関係もございまして、次のページ以降は、大施策 1 項目に対し 1 項目の取組・実績を例に取組内容と実績についてご紹介させていただきます。

9 ページ 10 ページをお開き願います。こちらは施策 1-2 学生・社会人・高齢者それぞれのライフスタイルやニーズに対応したスポーツ活動の推進に対応した取組内容となります。

取組内容の上段、地域体育振興事業をご覧願います。こちらは八戸市スポーツ協会所属の地区体育振興会等が行う事業に要する費用を一部補助する事業でございまして。

結果といたしまして、右側 10 ページのア、地区体育振興イベント等参加者数を記載しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 3 年度は、計画策定前の平成 30 年度、15,495 人から 10 分の 1 以下、1,479 人となっております。

続きまして少し飛びますが、13 ページ 14 ページをお開き願います。こちらは施策 1-3 スポーツ関係団体、プロスポーツチーム、大学との連携による様々なスポーツを体験できるスポーツ機会の提供に対応した取組内容となります。

取組内容の上段、各種スポーツ大会運営補助事業をご覧願います。こちらは八戸市総合体育大会を市のスポーツ協会と共催し、運営費の一部を負担している事業でございまして。

結果といたしまして、右側 14 ページのア、市総合体育大会参加者数数を記載しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 3 年度は、0 人となっております。令和 2 年度も同様に新型コロナウイルス感染症の影響を受け、冬季大会のみの実施となり、56 人となっているものでございます。

続きまして、15 ページ 16 ページをお開き願います。こちらは施策 1-4 トップアスリートを輩出している競技や、新たなスポーツ施設・環境を生かしたスポーツ競技力の向上に対応した取組内容となります。

取組内容の上段、地域スポーツチーム応援事業をご覧願います。こちらは全国大会等出場決定時や優勝時の応援・顕彰看板を市庁舎等へ設置する事業でございます。

結果といたしまして、右側 16 ページに記載しておりますが、令和 3 年度は、東京 2020 オリンピックに出場した、坂本勇人選手・本村直樹選手の応援看板、東京 2020 パラリンピックに出場した天摩由貴選手の応援看板、両大会のメダル獲得祝賀看板の 3 件の実績となっているものでございます。

続きまして、19 ページ 20 ページをお開き願います。こちらは施策 1-5 トップアスリートとの交流、トップレベルの競技大会への派遣支援に対応した取組内容となります。

取組内容の上段、氷都八戸パワーアッププロジェクトをご覧願います。こちらは小学生対象のスピードスケート・フィギュアスケート教室を開催する事業でございます。

結果といたしまして、右側 20 ページに記載しておりますが、スピードスケートについては、令和 3 年度、教室申込者数は 150 人、競技者数は 103 人、フィギュアスケートについては、教室は令和 3 年度からスタートし 91 人、競技者数は 24 人となっているものでございます。

続きまして、21 ページ 22 ページをお開き願います。こちらは施策 1-6 体育施設整備基本方針に基づくスポーツ施設の維持管理などによる活動場所の確保に対応した取組内容となります。

取組内容の上段、フラットアリーナ利用促進事業をご覧願います。こちらは民間事業者が整備したフラットアリーナを借り上げ、市有施設として貸出する事業でございます。

結果といたしまして、右側 22 ページに記載しておりますが、令和 3 年度の利用者数は、67,739 人となっているものでございます。

続きまして、25 ページ 26 ページをお開き願います。こちらは施策 2-1 スポーツ施設の新設に合わせた継続的な大会・イベントの開催に対応した取組内容となります。

取組内容の上段、屋内スケート場自主事業をご覧願います。こちらはスポーツイベントの誘致やスピードスケートの大会運営費用の一部を補助する事業でございます。

結果といたしまして、右側 26 ページに記載しておりますが、令和 3 年度のスピードスケートの大会開催数は 14 回、国際大会は 0 回、スピードスケート以外のスポーツイベントは 0 回、スポーツ以外の興行等の開催回数は、お笑い芸人 EXIT によるライブ開催の 1 回となっているものでございます。

続きまして、27 ページ 28 ページをお開き願います。こちらは施策 2-2 地域一丸となったスポーツへの興味・関心を高めるための環境づくりに対応した取組内容となります。

取組内容の上段、地域スポーツチーム応援事業をご覧願います。こちらは地域スポーツチームの公式戦に市内小学生を無料招待し、観戦機会を提供する事業等でございます。

結果といたしまして、右側 28 ページに記載しておりますが、令和 3 年度の地域スポーツチームホーム戦平均観戦者は 853 人となっているものでございます。

続きまして、29 ページ 30 ページをお開き願います。こちらは施策 2-3 産業とプロスポーツチームの連携による、地域産業・地場産品等 PR の展開であります。こちらに対応した取組内容は現時点ではございません。

続きまして、31 ページ 32 ページをお開き願います。こちらは施策 2-4 スポーツ体験・観戦を活用したスポーツツーリズムの推進に対応した取組内容となります。

取組内容、VISIT はちのへ活動支援をご覧ください。こちらは市の観光課が VISIT はちのへに補助金を交付しているものであり、みちのく潮風トレイルを活用したガイド付きのトレッキング企画等を実施している事業でございます。

結果といたしまして、右側 32 ページに記載しておりますが、令和 3 年度のトレッキング等への参加者数は 57 人となっているものでございます。

続きまして、33 ページ 34 ページをお開き願います。こちらは施策 3-1 本市のスポーツ施設・環境の特性を活用した大会・合宿の誘致に対応した取組内容となります。

取組内容の上段、屋内スケート場自主事業をご覧ください。こちらはスピードスケートの合宿誘致や、先ほどもご説明いたしましたスポーツイベント等を誘致する事業でございます。

結果といたしまして、右側 34 ページに記載しておりますが、令和 3 年度の合宿来訪団体数は 183 団体、来訪者数は 12,068 人となっているものでございます。

続きまして、35 ページ 36 ページをお開き願います。こちらは施策 3-2 大会・合宿時の会場、宿泊、観光等のワンストップ窓口の管理・運営の推進に対応した取組内容となります。

取組内容、八戸スポーツビジネス創生事業をご覧ください。こちらは当市をはじめ各種団体が連携し、スポーツ事業を一元的に行う地域スポーツコミッションの設立を推進するものでございます。

結果といたしまして、右側 36 ページに記載しておりますが、令和 3 年度中に設立に向けた準備を行い、令和 4 年 4 月 1 日に設立の運びとなりました。今年度からこのコミッションにて、スポーツ合宿への補助金を交付する事業や、地域プロスポーツチームに対する支援等を実施しているものでございます。

続きまして、37 ページ 38 ページをお開き願います。こちらは施策 3-3 地域スポーツをささえる人材・環境の強化に対応した取組内容となります。

取組内容の中段、スポーツ推進委員研修事業をご覧ください。こちらはスポーツ推進委員の資質向上を図るため各種研修会に派遣するほか、市と八戸市スポーツ協会のイベントに運営スタッフとして推進委員を派遣する事業でございます。

結果といたしまして、右側 38 ページの上から 3 段目に記載しておりますが、令和 3 年度は、22 名の派遣、イベント等への運営派遣については、イベントの中止にともない 0 人となっているものでございます。

大施策ごとの取り組みと実績について簡単にご説明させていただきましたが、やはり新型コロナウイルスの影響を受けている事業が大変多いものでございます。

なお、42 ページ以降は、小施策ごとの方針と、関連事業の一覧を掲載しておりますので、お時間のある時にご覧いただければ幸いです。

以上で私からの説明を終わらせていただきます。

なお、皆様に配布しております、右上に別冊と記載のある、令和 4 年度八戸市スポーツ推進計画アンケート報告書についてですが、こちらは今年の 3 月から 4 月にかけて市民を対象に実施したアンケート結果になりますので、こちらもお時間のある時にご覧いただければ幸いです。

事務局 資料の説明は以上でございますが、ボリュームのある資料の概要をご説明したものでございます。本日は資料の実績に基づくご審議だけではなく、普段皆様の生活やお仕事のなかで、市のスポーツ施策についてお気づきの点などお聞かせいただき、我々とする来年度の事業の参考にさせていただきと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

会長 ただいま事務局から、「八戸市スポーツ推進計画の進捗状況について」説明がありましたが、ご意見やご質問はございませんか。

委員 1つ提案ですけれど、今、小中学校が非常に少子化されて、1つの学校では部活ができなくなってきているような状況でございます。そして、今までであれば長者学区の場合は、長者や函南とかでやっていますが、それが最近はクラブチームができて引っ張り合いが起きています。

そのことによりまして、やはり勝ちにこだわっている部分が非常に目につくので、できればやはり、今までは学校の先生方が携わって一生懸命見てくれていたので、非常に挨拶とか基本とかさまざま素晴らしいなという感じでしたけれど、最近は少し勝ちに走って、礼儀とかそちらが少し欠如してきているような感じがいたします。

したがって市のほうで、教育委員会等でその辺を見ながら子供を育てる。また老人たちも和気あいあいとやっておりますが、どうしても勝ちにこだわると、チームワークが乱れるなど感じますが、特に少子化に伴ってもそういう問題が生じていることも一応報告させてもらいます。以上です。

会長 はい。ありがとうございます。今の件につきまして、妻神委員からは教育委員会ということもありましたが、ガイドラインのあたりはいかがでしょうか。

委員 運動スポーツの、スポーツ少年団など中学校部活動の指針が出されて3年目になります。それについても見直しをしていかなければならない時期になっているのかなと。

1つですね、来年度から部活動も地域の協力を得てということで、土曜日、日曜日については、いわゆる地域スポーツに移行していこうという動きも出ています。この辺についてはスポーツ協会さんと相談の上、連盟や協会さんともタイアップしていかないと、なかなか受け皿の問題で中学生がその機会を得られなければ、やはり運動離れしていくのかなと。

そこで、少し気になっているのが、ここ2年のコロナの状況で、やはり子供たちの体力が非常に落ちているなど、顕著に落ちているなどということを感じております。今、4月5月、新スポーツ体力テスト等を学校で実施していますが、やはり平均値を見ても、かなり落ち込んでいるというところと、あと運動部活動の入部の状況も、やはり文化部に流れている子供たちが出てきているのかなというところで、部活動としてチームを組めない学校が増えてきている状況です。

よって、県の中体連の動きとしては、今までは少ない同士の学校の子、合同チームということだったんですが、今年度から吸収型で、いわゆる部員の少ないところを多い学校と組んでという動きが出てきていますので、その辺で子供たちの機会を多くしていくという

か、合同チームの規程とかも変わってきていますので、その辺で子供たちの運動の機会を増やしていくというところもこれから我々学校の課題になって来るのではないかなと思っていました。

会 長 ありがとうございます。支えるスポーツの中で、色々地域との、それから地域スポーツと学校の部活との両立を考えていなければならないのと、時代の流れとして段々と地域スポーツのほうへ指導が移行しつつあるなどということは考えていかなければならないことと思います。他にご意見等ありますか。

事務局 今の件については、市としても非常に重要な課題だと捉えてございまして、まさに今、地域スポーツが過渡期であるなど認識してございます。皆さんのほうから、スポーツ協会さん、様々なスポーツ推進委員の皆さんとか、様々なところから知恵をいただき、子供たちのスポーツ機会ができるだけ増えるようにしていきたいと考えてございます。引き続きご意見についてはいただきたいと思います。以上でございます。

委 員 参考までですけれど、氷都八戸というプロジェクトですね、市ではそういうプロジェクトを組んでスケート教室等やっており、非常にその効果が上がってしまっていて、一時人が減少していたのですが、市のそういう取組により、大会に出る子供、それからスケート教室に参加する子供もあって、少しは氷都八戸の効果が上がってきているなど。

しかし、コロナの関係で一般の方が観戦できなかったのが非常に残念だったなど。せっかく世界に通じる素晴らしい選手が来ていたにも関わらず観戦できなかったのは、残念だったのではないかと思います。

早くコロナが収まって、氷都八戸のシンボルである YS アリーナからそういう形で、館長さんがおられますが、いっぱい集まってくれば元気が出てくるかなと感じます。

それと要望なのですが、一般市民が結局コロナの関係でほとんどスケートに携わることができなかったことが悩みの種かなと思います。あと、YS アリーナがあんなに立派だけれども、あそこが憩いの広場という無料で休めるけれども、その辺がまだ一般市民に知れ渡っていないところもあるなど少し感じております。以上です。

会 長 ありがとうございます。氷都八戸のシンボルである YS アリーナについての使用の要望等ありましたら、ご意見どうでしょう。●●さんがせっかくいらっしゃいますので急ですみませんが。

委 員 ●●さんから、スケートに特化した施設ですけれども、2階、3階のホワイエ等の利用者が少ないという形でのお話がありましたけど、以前、●●さんからこだま欄に書いていただいて、市民の方々がホワイエ、要するに朝9時から夜8時半まで無料であるという形で大いに利用していただきたいという旨の記事を書いていただいて、大変ありがたいなと思っておりましたけど、意外とその後なかなかコロナ禍ということもありますけれども、利用される方々が少ないということです。

話が前に戻りますけど、スケートに特化した施設ですけれども、中地に関しては特に多

目的のほうのコートは 90%以上使われているという状況ですので、その点では市民の方々が大分理解してもらっているという状況にあります。

人工芝に至っては、利用金額が高いというお話があるようですけども、実際問題サッカー関係者から言わせると、他の施設とさほど変わらない金額なので、十分にその辺の理由がわかってもらえれば、利用が増えるのではないかなということでもあります。

意外とコロナ禍の状況の中ではだいぶ利用者というか、これからイベントを如何にして持ってくるか、というところに今来ていると思います。以上です。

会 長 急なご回答をお願いしたところでしたけれども、コロナ禍の中でも、減っていないということは確実にあると思います。他はいかがでしょうか。

事務局 氷都八戸パワーアッププロジェクトについてのご発言でしたけれども、私から氷都八戸パワーアッププロジェクトについて具体的な取組等について説明させていただきますと、青森県スケート連盟さんの協力をいただいて、幼稚園、保育園、小学校等の授業に対するスケートの指導者派遣事業というのをやっていて、学校で授業があるときに、指導者として授業のお手伝いをしていただいております。

あとは、市としてスケート教室を実施したり、中学競技者に対してスピードスケート靴やフィギアスケート靴、アイスホッケー用のスティックの購入に要する費用に対して補助金を交付などしております。

それで、小学校の授業への指導者の派遣事業ですけれども、平成 27 年度からこの派遣事業を行っており、平成 27 年度の受講者数が 3,155 名、28 年度が 3,663 名で、29 年度が 3,974 名、30 年度が 4,211 名、元年度が 4,150 名、2 年度が 5,098 名と年々増えてございます。

令和 3 年度は残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響もあって、2 月のスケート授業がなくなってしまったということもあり、4,060 人となりましたけれども、これまでに約 28,000 人の受講者数がございます。

これらの成果もあって、この少子化の中、小学生、中学生、児童生徒数が減る中、スケート競技については増えてございまして、まず小学生なんですけれども、プロジェクト開始の平成 27 年度 243 名だった競技者数というのが、令和 2 年度の数字になりますけれども 279 人で、増加率 14.8%になってございます。

ただ少し課題があって、これが中学生になってしまうと 159 人が 137 人に減少してございまして、減少率 13.8%になっていて、小中学生を併せますと競技者数というのが、平成 27 年度から令和 2 年度で 3.5%の増加率、ただ、この 3.5%はたいしたことがないのかなと考えますけれども、小中学生数がその間に 11.4%減少していますので、十分な成果をあげているのでございます。

あと、ホワイエなどの活用というお話だったと思いますが、確かに外で、土日に散歩している方々の数に比べたら、やはり、あまり寄っていないなという印象を私ども受けますので、市としては PR に努めていきたいと考えております、以上でございます。

会 長 ありがとうございます。他に意見、要望等ありましたらお願いいたします。

委員 スポーツコミッションの設立についてですが、今、準備中という段階のようで、来年度の設立を目指しているようでございますが、これはまだ決まっているのかどうかかわからないですけども、形態的に、行政側が主導的にやるものなのか、それとも法人化して、独立してやってもらうというように考えているんでしょうか。

事務局 スポーツ推進計画の中では、令和5年度までにコミッションを設立すると謳っていましたが、令和4年4月1日に設立済みでございまして、事業の内容と致しますと、八戸市におけるスポーツ合宿に対する補助金の交付と、地域プロスポーツチームですね、ヴァンラーレ八戸FCと、東北フリーブレイズ、青森ワッツ、八戸ダイムに対する、観客を増加させるための支援などとなっているものでございまして、現時点では行政主導で、八戸市スポーツ振興課内に事務局を置いて事業を進めてございます。以上でございます。

会長 ありがとうございます。事務局はスポーツ振興課内にあるということで、よろしく願います。他にありましたらどうぞ。

委員 スポーツの専門家みたいな皆さんばかりで、私すごく違和感を感じておりますけれども、だから逆にど素人目線ですみません、変なポイント、違うことを言ったら大変申し訳ないのですが、まずは、こんなにたくさんのスポーツに関する施策をやっているということ初めて知りました。物凄く多岐に渡って色々な支援策を行っていると思っています。

分かりやすいのはこの5ページのところだと思うのですが、指標に対する実績が上がっていますが、この実績を上げるのに、例えばどのぐらいの予算を使ったかという、その費用対効果を見えるようにしたほうがよいのではないかなと思っています、これをやって、こうだよと数字は見てわかりますが、コロナもあり、落ちているのもあれば、上がっているものもありということですけど、では、いくら予算を使ったからこういう実績ですよという費用対効果がわかるようにしてもらったほうがわかりやすいかなと単純に思いました。それが1点。

あとは、すみません、書いてあることを見てみると、やはり氷都八戸だからスケートであるとか、学校関係のスポーツ等あるのですが、最近、体の色々な不具合があるのでウォーキングをしており、大体毎朝行っていますが、歩いている人がかなりいます。

僕は売市なので、馬淵川の河川敷を朝40分ぐらい6,000、7,000歩ぐらい歩いて、5時ぐらいから40分ぐらい歩いています。かなりの人とすれ違うし、色々な年代の人が、もちろん歩いている人もいますが、ジョギングしている人も、かなりのスピードで走っている人もいます。

今日、たまたまちょっと6時にお客さんをロイネットホテルに迎えに行くのに中心街に行ったら、街中を走っている人もたくさんいました。これが6時前、5時半ぐらいでしたけど。

そういうスポーツをやっている人達もたくさんいる。ジョギングだったりウォーキングだったりをやっている人もたくさんいるし、例えばボルダリングだったりとか、それからオリンピックで話題になったスケートボードだったりとか。

最近だとサップ。蕪島のところでサップなんかをやっていたりとか川でもできるので、

そういうサップをやっている人達がいったりとか、流鏝馬をやっている友達がいったりとか、今8月11日に八幡の神社で大会があったりしますけれど。

色々なスポーツが今あって、絞っているわけではないと思いますけれども、従来型の捉え方をしているような気がして、もっとたくさん色々なスポーツが、やはりスポーツの原点は分からないけれども、楽しいということがあるからやりたくなるし、何か良いことがあるからやろうと思っていると思います。

だからもっと範囲を広げて捉えていって、生涯スポーツとか書いてあるけれど、それを全部ひっくるめてあるのかも知れないけど、色々なスポーツをやっている人がたくさんいるから、その人達ももっと楽しくできるような、もっと広い意味での網を広くかけてあげたりとかするというのもあっても良いのかなと少し思ったり、スポーツの概念とは何かなと話を聞いていましたけど、出てくるのが大体レスリング、アイスホッケー、スケートみたいな感じで、なにか同じ言葉がずっと来るなと思って、他にもたくさんスポーツあるよねと思いました。

そういう人達の支援ですね、例えば今、流鏝馬をやる友達はやはりこの開催経費だったりも凄く困っていて、クラウドファンディングをやったらと話をしていましたけど、協賛を集めたりとか凄く苦労していましたけど、そんなところにも何か手が差し伸べられたら、十和田の桜流鏝馬はもうツアーが組まれるぐらいの一大イベントになって、全国からお客さんが来るようになっているけれど、そのように育っていくということもあってもいいのかなとしたりしていました。

それで、ここにあった基本方針の中の「楽しみたくなる街」の実現とあって、何々したくなる、見たくなる、支えたくなる、みたいなやつ、これって僕は観光をずっとやってきたけれども、まったく同じで、いかにそこに行ってみたくなるかだし、そこに行って、あれやってみたいとか、あれを食べてみたいという、その思いにさせるというのが絶対大事なところですよ。

そこには何か楽しそうだなとか、そういうエッセンスが見え隠れするあたりが、行ってみたいな、やってみたいなという気持ちにさせるという、そういうところを刺激していくようなのが良いのか、悪いのかわからないけれど、南部町でフルーツマラソンとかやっていて、給水のところにフルーツがあって、それを食べたりとか。

五戸だったかな、馬肉マラソンだかなんかあって、走り終わると馬肉鍋を食べられるという、体に良いのかどうか全然わからないですけど、そういうのがあったりとか。

普段スポーツにあまり馴染みがない人も少しやってみようかなみたいな、何かのきっかけで。体をペインティングして走るみたいなのがあったりだとか、何かそういうのもあって、もっとスポーツを身近に感じたり、楽しくなったら自分もやってみたいなと思うようなものがあると良いのかなという感じを受けました。以上です。すみません、色々取り留めなくなりました。

会 長 2点あったと思いますが、費用対効果のことと、多様なスポーツについて、事務局からよろしくをお願いします。

事務局 貴重なご意見ありがとうございます。費用対効果については非常に重要なことだと思

いますので、ハード事業となってしまうと何々建設となつて非常に高額になってしまうので、ソフト事業について費用対効果を、この件については検討したいと思います。

あと、いわゆる新しいスポーツ、最近出てきたスポーツについて、我々としても施策の整理が必要だと認識してございます。まずスケート、レスリングというのが八戸市の特徴的なスポーツ、オリンピックも輩出しているということで、これはターゲット種目ということで整理してございまして、いっぱい言葉が出てきますが、仰るとおり市として予算をかけて、競技の振興あとは競技者数の増加に向けて進めているものでございます。

その他様々、野球やバスケットなど競技人口の多いもの、これらについても、東北大会以上の大会の開催に対する支援とかはありますけども、この新しいスポーツにつきましても、全国大会とかに行く場合には支援させていただいてございまして、全く網から漏れているということではございません。

ただ、施策の中で強弱がついているというのもご指摘のとおりだと考えてございます。競技人口を見ても、増えていくもの、減っていくもの様々でございまして、その推移、あとは少ないからといってそれについて、市として関わる必要がないのかといえばそのようなことはないので、全体を見ながら適切に今後対応していきたいと思っております。

あと、ウォーキングの件ですね、私は中心市街地をウォーキングしてございまして、このあたりを見ましても、非常に多くの方が歩いていて、中心市街地、何がおすすめかというと、歩道があって歩きやすいです。これ余談ですけども以上でございまして。

事務局 補足です。

費用対効果の件は、必ずしも今のご案内のとおり行政だけがスポーツ振興に取り組んでいるわけではなくて、プロスポーツチームもありますし、講座だったり、各種スポーツ団体、教育団体もありますので、なかなかそういう意味では行政の予算を出すことにどれだけの意味があるのかということもありますので、必ずしも良い資料ができるかどうかというのは分からないのかなという部分もございまして。

その辺はそういう課題があるというところかなと思います。

委員 私の立場から、直接こういった事業に現状で何かができているかなというところもありますけれども、まずスポーツに親しむという部分で考えますと、現状、私は体育の授業をメインにしています。

先ほど子供たちの体力というお話もありましたが、大学生の体力も結構問題といたらあれですけども、やはり、ここまで例えば部活動をすごくやってきた学生さんが大学に入って、多くの学生さんは本格的な部活動からは離れますけど、そういった学生さんであったり、また一般の学生さんであったり、体力的な部分でなかなか運動機会が少ないと感じています。

また本学の体育は選択の科目になっておりまして、取りたい人が取るという形になっておりますので、実際、私は10年働いていますが、その中でも減少しているような、以前は7割くらいが取っていたものが、6割5割となっているような状況もあります。

大学生というのは、将来これからの八戸であったり、近隣を担っていくような世代でもありますし、将来的に親という立場になれば、お子さんに対してスポーツを推奨していく

ような可能性もある人達であるとも考えていますので、そういう部分からでも体育の教育を通じて、最終的にスポーツについて親しめるような状態を作りたいなと思いながらやっていたので、何か政策と関連する部分もあるかなと思って聞かせていただきました。

スポーツと体育というところで、少しそこが1つ難しさの部分なのかなと思ってます。受講する学生さんに、スポーツが好きかどうか、そして体育の授業が好きかどうかというような聞き方をしますけれども、スポーツは好きだけれども体育は嫌い、というように、少し平均値が下がってしまいます。

やはり選択で体育を取りに来るので、スポーツ、体を動かすことは好きです、5点なんですけど、体育は好きかというところと3点とかになってしまいます。ということが、もしかしたら体育の授業で、少し苦い経験といいますか、なかなかこう、ここは教育とも関わるので難しい部分なのかなとは思っております。

今、体育協会がスポーツ協会にというような流れもありますので、そういった中でも、体を動かすことにこう、どんなスポーツと言いますか、身体活動でも、皆さんがそれぞれやりたいようなことをできる状態というのが、最終的には健康増進の為にも望ましいのかなと考えますので、私の立場からまず大学生の体力的な面を、より低下させないということが1つ大事なかなと感じております。

また、八戸のスポーツ振興協議会にも出させていただいて、その流れの中で、昨年度、ヴァンラーレ八戸の方に私の授業の際に来ていただいて、プロスポーツ、サッカー選手としてのご経験と、そしてトレーニングであったりそういったものを、サッカーに限らない一般の学生に体験してもらってというようなこともやっていただきました。

やはりそこから八戸市にそういったスポーツチームがあって、どういった活動をしていてということを知るきっかけにもなると考えていますので、そういったことを、ぜひ今後も継続はしていきたいと考えています。

また、先程スケートのというお話も出てましたが、やはりああいう施設が八戸市に存在していて、またそこでスケートを体験する。本学で言えば、北東北の学生さんがほとんどを占めているんですけども、スケートの経験がほとんどないという、八戸以外の学生さんもいらっしゃるの、なんとかそこを1回でもでも体験してほしい。

また本学は工業大学ですので、そういった、逆に建物の方に関わる学生さんも将来的に出てくる可能性もありますので、スポーツと地域と実際の建造物であったりとか、どのような施設があるとか、そういったものも含めたものをもう少しこう考えながら、私としてはやっていきたいなと思っておりますので、もし大学生も関連するようなものがありましたら、ぜひ教えていただければと思っております。以上です。

事務局 貴重なご意見大変ありがとうございます。市としても八戸工業大学さんと積極的に連携して、様々な施策に進んでいきたいと考えてございますのでよろしくお願いたします。

あと、地域プロスポーツチームですね、ヴァンラーレ八戸FCさん、サッカーだけでなく東北フリースタイルさん、プロのホッケーチーム、あとは青森ワッツさん、八戸ダイムさんありますので、チームとしても積極的に地域に溶け込んで地域活性化のためになにかをこうしていきたいという思いがございますので積極的にお声がけいただきたいと思っております。以上でございます。

事務局 ぜひ初回ですので、参加されている委員さん全員からご発言いただければと思います。

委員 私のほうとしては障がい者のスポーツとして、まず健康のためにやる、競技のためとか全国のスポーツ大会に出るとか、様々ありますけども、今、取り組んでいるのは、フライングディスク、そしてポッチャですよね。

それが今1ヵ月に2回から3回、市の福祉体育館を借りてやっておりますけれども、その他に年何回か、2年か3年に1回、デーリー東北さんと呼んで、その他うちの財団のほうから1人きてもらって勉強会ということで、三八地域の他に上十三の方にも来ていただいて、勉強会とか、そのような感じで広げてます。

なんのためではなく健康のため、また交流のため、皆さん障がい者はほとんど籠ってしまいうんですよね。それをできるだけ介助していかなきゃならないと、というので様々施設が建つのであれば、その施設を十分使えるような、誰でも使えるようなものにしていただければと思ってます。

今年か来年、財団のほうの人からボランティアを出してもらって、また勉強会ということで三八地域のほかにも三沢十和田とか呼んで、広げていきたいなというのがそこです。それを新聞で取り上げていただき、一般の方にも見てもらったり、家族でもできますのでそういう取り組みをこれからもしていきたいなと思っています。

委員 私も●●さんと同じでスポーツと全く関係無い団体に所属していて、非常に場違いなところに居るなと感じておりますが、なかなか、先ほどから様々ホッケーとかレスリングとかサッカーなどが出ていますが、やはりこの年になるとそのような興味というか、やはり一歩踏み込めないところです。

なので、先ほどウォーキングの話も出てましたけども、非常に私も健康に最近は気がつかっているのでウォーキングをしますし、去年から自転車も始めまして、ドロップハンドルのロードバイクみたいな、本格的なスポーツタイプの自転車ではありませんが、自転車を始めまして休みの日に40キロとか50キロのサイクリング、種差方面とか行ったりするので、結構本格的な自転車の人とすれ違ったりしまして、先ほど多様なという話もありましたけど、結構自転車をやっている人いるなと思ひまして、そういったのもちょっとスポーツという意味では良いのかなと思っています。

あと、非常に最近、運動の他に健康という事に気を使って、非常に運動のほかにも食にも最近関心があって、栄養面とかそういう意味では運動と食は、非常に密接に関わりあると思ひますし、アスリートにとっても非常に食というのは大事だと思うので、そのような食に関しても何か取り組めたら良いのかなというように感じはします。以上です。

会長 出席している委員の皆様から、1回は発言の機会はあったのですが、他にいらっしゃいましたら如何でしょうか。よろしいでしょうか。

委員 私はスポーツ推進委員をやっております、このスポーツ推進委員という名称に馴染みがないという方も多いたと思ひますけども、これは国の、人生100年時代、100歳時代

という、それに基づいた施策の中の1つのようにございます。

これは健康寿命を保つためにはどうすればいいかということについて、それぞれ医療的な面、栄養学的な面、生活習慣病的な色々な分野で、凄く皆さんが検討しながら活躍しておりますけれども、我々スポーツ推進委員は、適度な運動と運動の継続という立場で頑張りなさいということで、各自治体、青森県であれば40市町村に必ずいます。八戸市にも42名任命されておりました、県内では人口割というような、各市町村でおりました、542名おりました、全国には約5万人の方が活躍しております。

具体的には適度な運動というのは何なのかということを考えてみますと、競技的な種目を指導できる組織ではありませんので、地域の例えば町内対抗ソフトボール大会であるとか、そういうコミュニティのスポーツ、区民運動会だとか、そういうものを企画運営して、地域の皆さんに運動する機会を作ってあげるというような活動をしておりました、いくらかでも役に立てればということで、全国の仲間と一緒に色々と考えて、楽しそうな行事があればそれを参考にしながら、我が地域でもやってみようということで日々アンテナを立てて、なにかよい話がないかなということをやっておりました。

スポーツ推進委員というのはそういう事業をやっていますということの紹介でした。ありがとうございました。

会長 ありがとうございます。それでは本日の審議は終了いたしたくと思いますが、よろしいですか。時間も結構過ぎました。では進行を司会にお返しいたします。よろしく願います。

司会 ありがとうございました。

次回以降の会議ですが、先ほどご説明申し上げましたとおり、今年度は本日の会議1回のみです。

本日、皆様方からいただいた意見につきましては、今後の市のスポーツ振興施策の推進の際の参考にさせていただきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

なお、令和5年度の協議会につきましては、時期等が決まり次第ご案内いたします。

以上をもちまして、第1回八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を終了いたします。

長時間にわたり、ありがとうございました。